

奈良県オープンイノベーションプログラム県内企業応募書類

- ・ 募集期限：2024年7月9日（火）17時まで
- ・ 提出先：nara_openinnovation@tohatsu.co.jp

1 応募者の概要

(ふりがな) 会社名	株式会社 XXX 製作所	
代表者の 役職及び氏名	役職 代表取締役社長	(ふりがな) 氏名 奈良 一郎
本社所在地	(〒XXX—XXXX) 奈良県奈良市XXX1-2-3	
事業所所在地 ※本プログラムを実施する奈良県内の事業所が、本社の所在地と異なる場合	(〒 —)	
既存事業の概要	金属加工（主に切削加工等） 金型の設計・製作 生産性向上についてのコンサルティング	
設立年月日	2008年 12月 1日	
資本金	1,000万円	
従業員数	30人	
自社 Web サイト URL (お持ちの場合は記載ください)		
連絡担当者の 部署・役職・氏名	部署 製造・研究開発課	(ふりがな) 氏名 金属 二郎
担当者連絡先	電話番号：0742-XX-XXXX メールアドレス：xxxx@xxxx.co.jp	
連絡担当者以外の 連絡先	電話番号：0742-XX-XXXX メールアドレス：xxxx@xxxx.co.jp	

2 実施体制

担当予定者一覧

責任者	部署	事業開発部
	役職・氏名	取締役事業開発部長 / 奈良 三郎
	ビジネスプラン策定の実務経験/実績/専門知識/学術基盤等	弊社の取締役であり、事業開発責任者としてスピード感を持った意思決定・事業創出が可能である。過去にはシステム開発会社での多数のプロジェクトリード経験があり、ソフトウェア開発やAI実装に関する知見を有している。 応用情報技術者
担当者	部署	製造・研究開発課
	役職・氏名	課長 / 金属 二郎（※専属担当者）
	ビジネスプラン策定の実務経験/実績/専門知識/学術基盤等	当社内製造設備のシーケンス制御を最適化することで生産性改善やコスト削減に長年取り組んでおり、設備の最適稼働や生産性向上についての知見を有している。 機械加工技能士
担当者	部署	
	役職・氏名	
	ビジネスプラン策定の実務経験/実績/専門知識/学術基盤等	

※担当者が多い場合、適宜行を追加してください。

※専属担当者（本プログラムがメイン業務となる方）がいる場合は、その旨記入してください。

3 ビジネスプラン（新規事業案）

実現したいと考えているビジネスプランを、各項目 200 文字程度で記載してください。最大 3 案まで記載いただけます。

(1) ビジネスプラン 1

① 概要

データを用いて製造ラインの生産性を可視化し生産性向上のための課題発見を行うソフトウェアと、弊社ノウハウを用いたコンサルティングをパッケージとして提供することで、生産現場の人材不足や生産性低下、ひいては利益率低下の解決を目指す。

② ビジネスプランを通じて解決したい課題・実現したいビジョン

製造業界においては、人材不足や人件費高騰等の影響で業績の落ち込みや利益率の低下が問題となっている。現場の DX 化を促進するサービスを開発・展開し、効率的な工場稼働を実現することで、製造業の生産性向上と競争力向上を実現したい。

③ ターゲット・ニーズ

✓ どのような顧客層をターゲットとし、提供価値にどれ程のニーズがあるか

初期段階では当社と同業である金属加工業に特化してサービスを展開し、将来的には機械や電子部品といった製造業他業種にターゲットを広げていく。
上述の金属加工業界においては、海外資本の安価な製品への競争力を確保するために生産性向上が必要であり、生産性向上の実現に向けた生産現場の現状可視化・課題発見が必須である。

④ 市場規模の大きさ・今後の成長性

2022 年度の製造業における DX 投資額は 3,000 億円弱であり、十分な市場規模があると言える（参照先 URL : <https://aaaa.com>）
また、2030 年度には、製造業における DX への投資額は 8,130 億円まで増加すると予測されており、高い成長性が見込まれている。

⑤ 新奇性・競合優位性

- ✓ これまでにない新しいユニークな価値があるか
- ✓ 他社と比較した際の優位性（強み）

開発予定のソフトウェアは、現場作業員が身に着けるセンサーからの位置データや動きをデータとして取得し、生産性可視化の元データとする新しい技法であり、今までにない視点で生産性の可視化や評価ができる。

また、当社がコンサルティング事業で培った、データとアンケートを活用した課題発見手法は、非常に正確に生産現場の課題を発見することができるため、他社のサービスと比較して優位性があると考えている。

⑥ 連携先のイメージ

✓ ビジネスプランにおいてスタートアップに求める技術・アイデア

当社にはデータ分析の技術とソフトウェア化技術が不足しているため、当該不足リソースを補ってくれるスタートアップとの連携を希望している。

当社は自社工場を実証フィールドとして提供し、連携先に対してデータ共有やソフトウェアへの現場のフィードバックを実施していく。

例えば、下記のようなスタートアップとの共創がよいのではないかと考えている。

- ・ データ分析：株式会社 YYY (<https://bbbb.com>)
- ・ ソフトウェア化株式会社 ZZZ (<https://cccc.com>)

4 本プログラムを必要とする理由、意気込み

既存の金属加工や金型の設計事業は、売上が10億円程度で安定した売上が確保できているものの、人件費の高騰等により5年前と比較し利益率が30%下がっている。利益や雇用を確保し、長期的な事業成長を実現するためにも、既存事業の代替となる事業の柱(=新規事業)を創出する必要があると考えている。

しかし、現在の自社のリソースでは上述した新規事業案に必須であるデータ収集・分析等を行うことができない。製造業界の生産性向上を達成するためにも、本事業を通してデータ分野にノウハウのあるスタートアップと協業し、新規事業を立ち上げたいと考えている。

【参考】過去の新規事業や他社との共創取組事例

ある場合は、記載してください。

2015年にA社と共創しく製造現場の職人スキルの可視化・従業員へのスキル継承ソフトウェアを開発・販売した経験がある
(製品掲載先 URL : <https://dddd.com>)

【問い合わせ先(運営受託者)】

〒541-0042 大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋三井ビルディング

有限責任監査法人トーマツ

監査・保証事業本部 関西アドバイザー 地域未来創造室 西岡、雑賀

TEL : 06-4560-6010 メール : nara_openinnovation@tohatsu.co.jp